

景況

レポート
2024年1~3月期調査

景気動向の概況

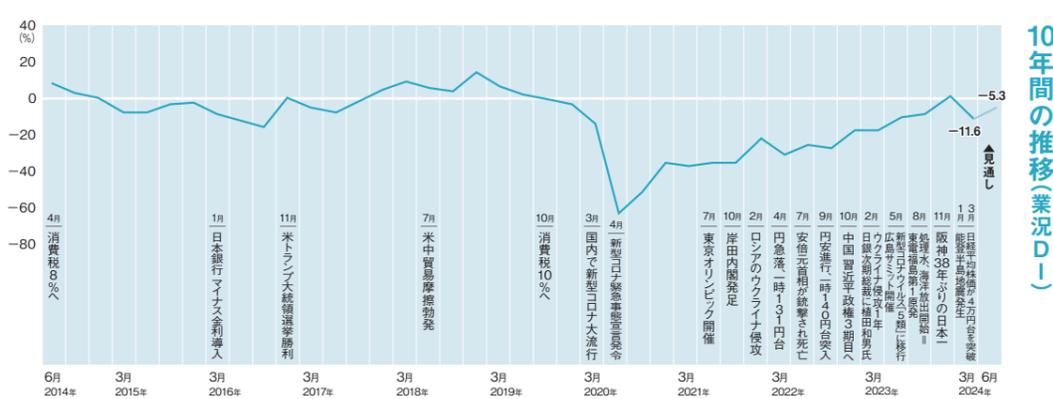
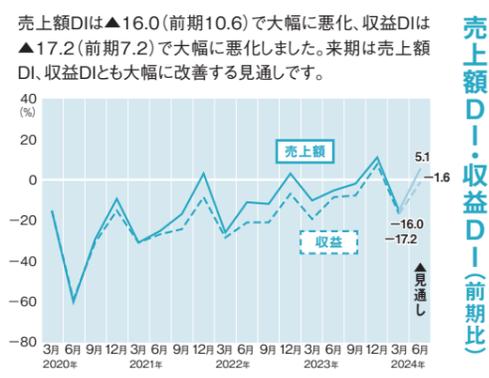
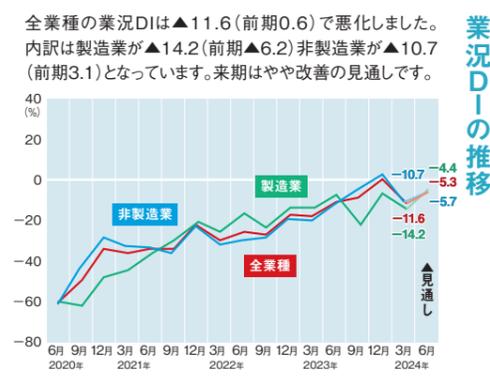
業況DIは
前期比12.2ポイントマイナス

今回のアンケート調査は、元日に発生した能登半島地震によるサプライチェーンへの影響や、物価高、賃上げによるコスト増加など悪材料が重なる中で実施いたしました。結果として、今期の全業況DIは▲11.6の前期比12.2ポイントマイナスとなり、全体の業況判断としては悪化となりました。今後については好調なインバウンド需要に加え、新年度を迎えての人流の増加などプラス要因はあるものの、2024年問題などの構造的な悪材料に加え、為替の先行きや、日銀のマイナス金利解除に伴う利上げ観測など、経済や金融市場への影響も懸念され、中小企業の先行きについては慎重な見方が続くと考えられます。

調査要領	依頼先数			回答数			回答率																				
	合計	1599社	449社	28.1%	製造業	358社	113社	31.6%	小売業	254社	68社	26.8%	建設業	287社	82社	28.6%	卸売業	287社	69社	24.0%	不動産業	119社	37社	31.1%	サービス業	294社	80社
調査時点 / 2024年2月15日~3月7日										調査依頼先 / 当庫取引先																	
調査方法 / 郵送調査										調査対象期間 / [今期] 2024年1月~3月																	
										[前期] 2023年10月~12月																	
										[来期] 2024年4月~6月																	
										分析方法 / 「増加」(上昇)したとする企業の占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(DI)により分析を行った。																	
										※DI: Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)																	

全業種総合DI

業況は悪化、
来期はやや改善の見通し

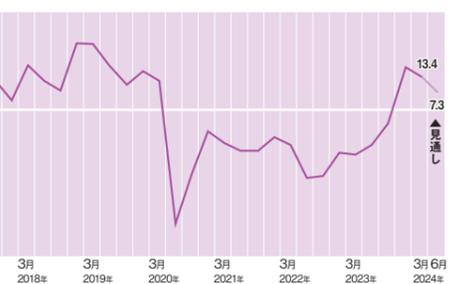
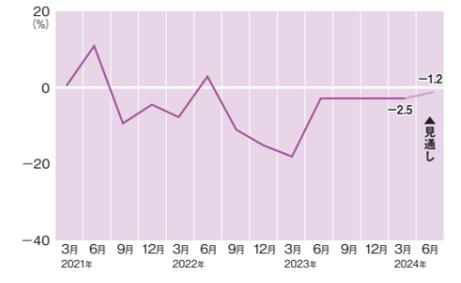
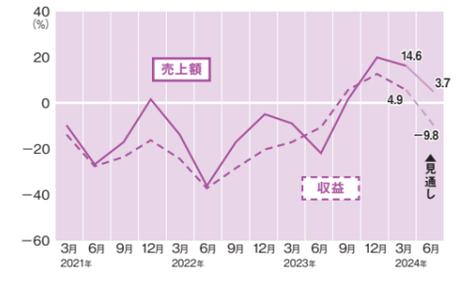
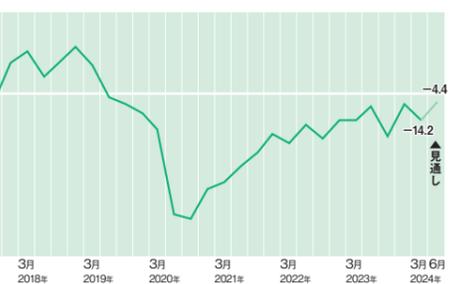
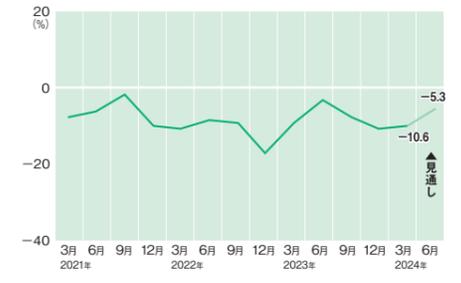


製造業

業況は悪化、
来期はやや改善の見通し

建設業

業況はやや悪化、
来期もやや悪化の見通し



経営上の問題点

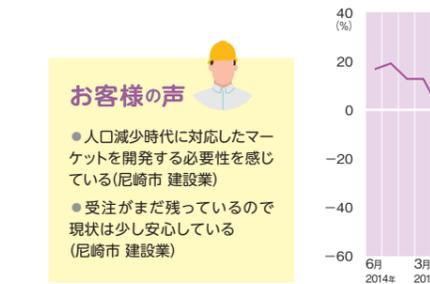
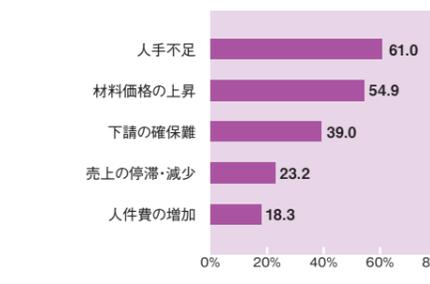
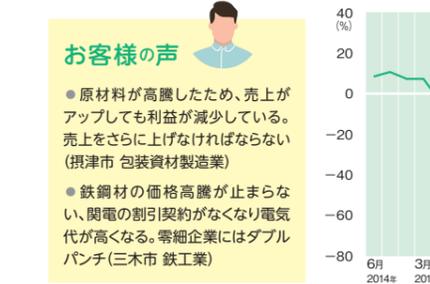
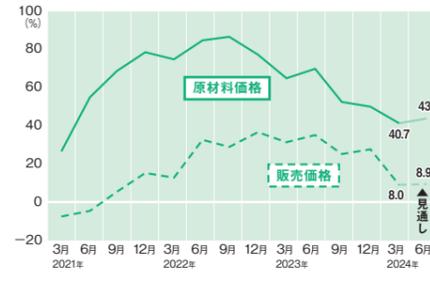
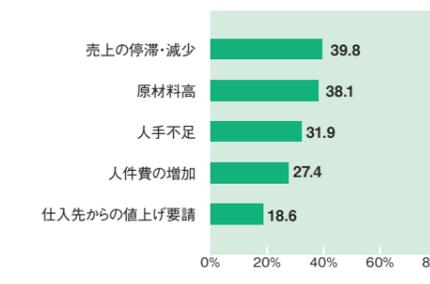
売上の停滞・減少に加え、
原材料高が課題

原材料価格DIはやや低下、
販売価格DIは大幅に低下

経営上の問題点

人手不足、
材料価格の上昇が課題

材料価格DIはやや上昇、
請負価格DIは低下



前期
今期
見通し



卸売業

業況は大幅に悪化、
来期はやや改善の見通し



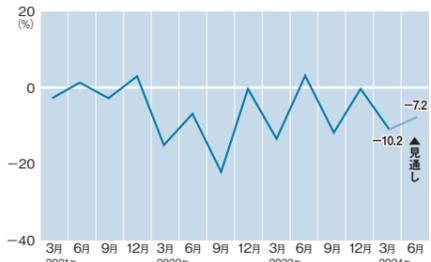
売上額・収益D-I(前期比)

売上額D-Iは大幅に悪化、
収益D-Iも大幅に悪化



資金繰りD-I

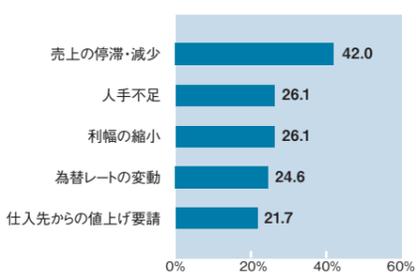
資金繰りD-Iは悪化



10年間の推移(業況D-I)

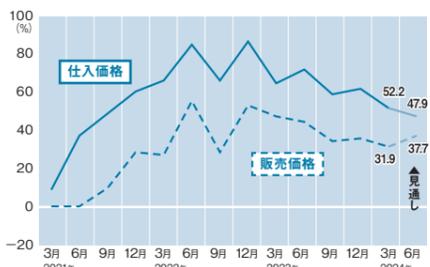
経営上の問題点

売上の停滞・減少が課題



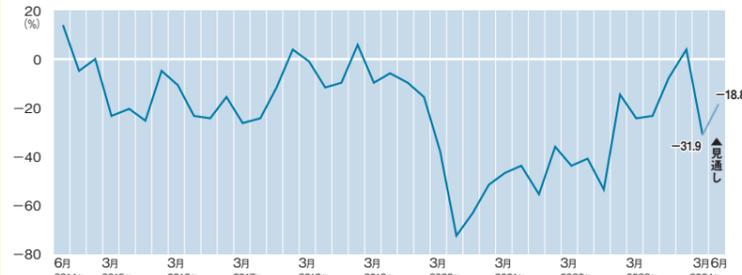
価格D-I

仕入価格D-Iはやや低下、
販売価格D-Iもやや低下



お客様の声

- 昨年の夏ごろから仕入価格が上がり利益率が低下、売上アップが見込めないのが買上げ、採用も苦しい(尼崎市 機械卸売業)
- 今年も本格的な景気回復まで移行しない感がある。ただし建設業関連はそれほど極端に悪くはない(川西市 建築資材卸売業)
- 円安の影響で輸入品の仕入価格が上がり続けており、利益確保が難しい(三木市 卸売業)



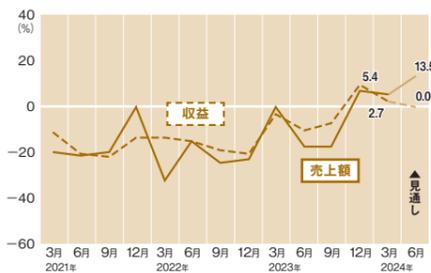
不動産業

業況は悪化、
来期はやや改善の見通し



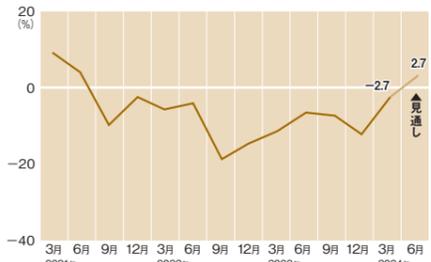
売上額・収益D-I(前期比)

売上額D-Iは横ばい、
収益D-Iはやや悪化



資金繰りD-I

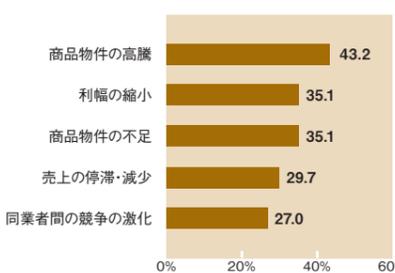
資金繰りD-Iはやや改善



10年間の推移(業況D-I)

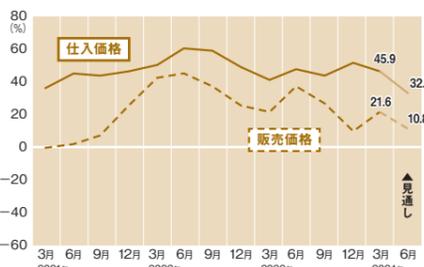
経営上の問題点

商品物件の高騰に加え、
利幅の縮小、商品物件の不足が課題



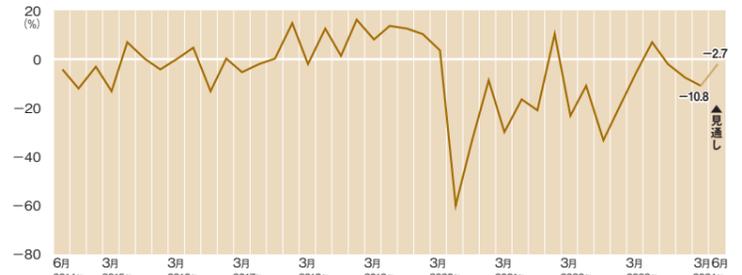
価格D-I

仕入価格D-Iはやや低下、
販売価格D-Iは上昇



お客様の声

- 今後、資材の高騰がどこまで続くのか懸念している(尼崎市 不動産業)



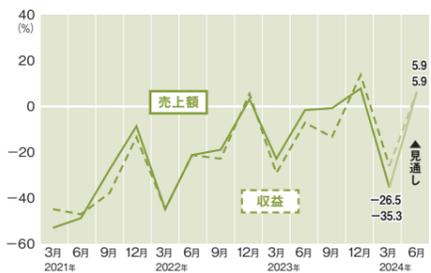
小売業

業況は悪化、
来期はやや改善の見通し



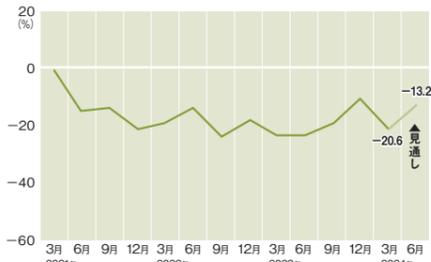
売上額・収益D-I(前期比)

売上額D-Iは大幅に悪化、
収益D-Iも大幅に悪化



資金繰りD-I

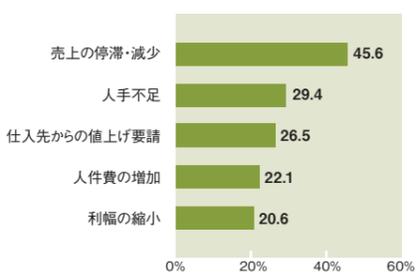
資金繰りD-Iは悪化



10年間の推移(業況D-I)

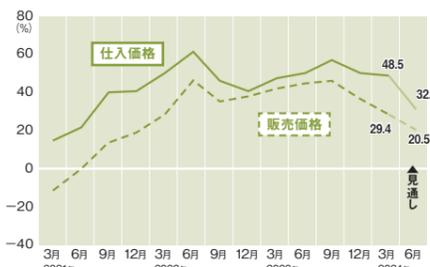
経営上の問題点

売上の停滞・減少が課題



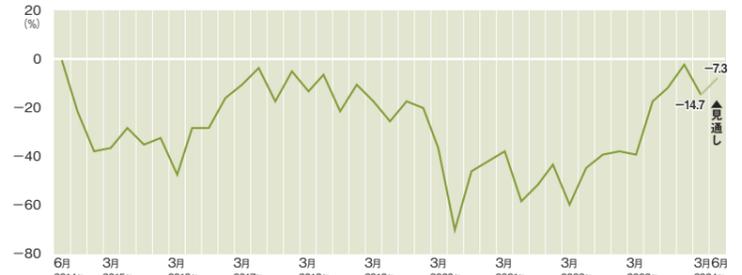
価格D-I

仕入価格D-Iは横ばい、
販売価格D-Iはやや低下



お客様の声

- CDソフトについては売上は例年並み、古着は業界が拡大しているため需要をつかみたい(尼崎市 小売業)
- コロナ融資の返済が始まる中、社員が退社して売上の減少を懸念している(西宮市 小売業)



特別調査

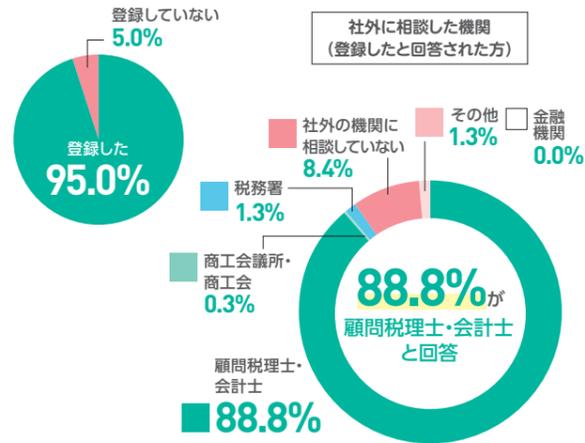
2

インボイス制度への対応と影響について

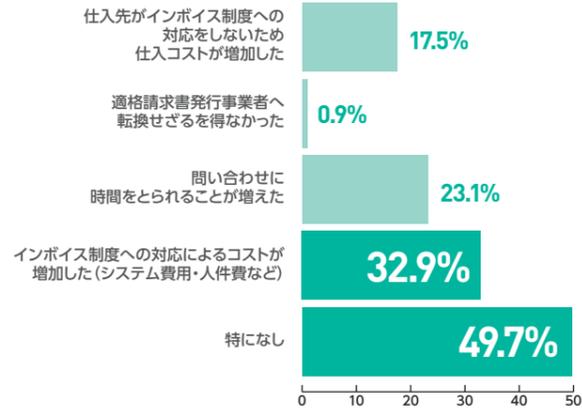
2023年10月1日よりインボイス制度が開始となりました。インボイス(適格請求書)とは売り手が買い手に対して、正確な適正税率や消費税額を伝えるものであり、登録番号など一定の事項が記載された請求書などのことを言います。今回はインボイス制度への対応と影響についてアンケートを実施いたしました。

調査時期 / 2024年2月14日～3月7日 調査対象企業数 / 1599社 有効回答数 / 436社 有効回答率 / 27.3% ※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。

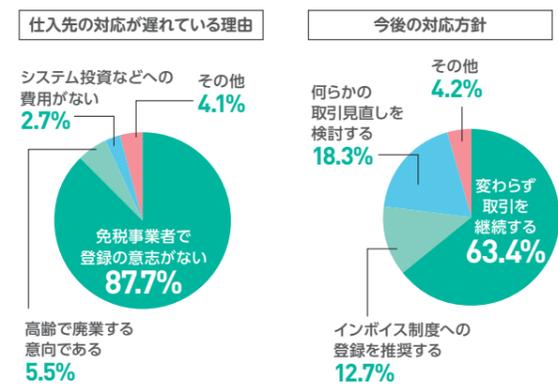
Q1 貴社は適格請求書発行事業者へ登録しましたか。「登録した」と回答された方は登録に際し、社外の機関に相談されましたか。 ※それぞれ1つ選択



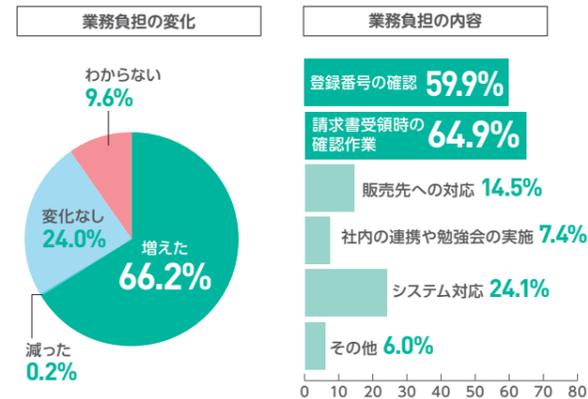
Q2 インボイス制度の開始により、貴社において何か影響はありましたか。 ※最大2つ選択



Q3 Q2にて「仕入先がインボイス制度への対応をしないため仕入コストが増加した」を選択された方は対応が遅れていると思われる理由と、今後の対応方針をお答えください。 ※それぞれ1つ選択



Q4 インボイス制度の開始により業務負担に変化はありましたか。 ※1つ選択 「増えた」を回答された方は具体的にどのような業務負担が増えましたか。 ※最大2つ選択



Q5 令和5年度税制改正により、2024年1月1日以後に電子データで受け取った帳簿書類等は原則電子取引データでの保存が義務化されました。貴社の対応についてお答えください。 ※1つ選択



特別調査

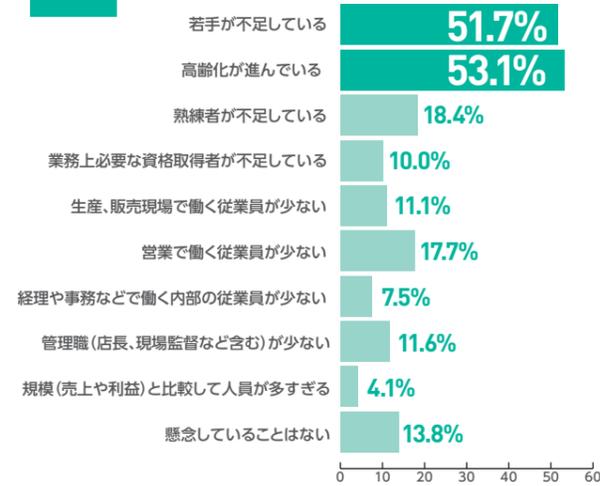
1

中小企業における人材戦略について

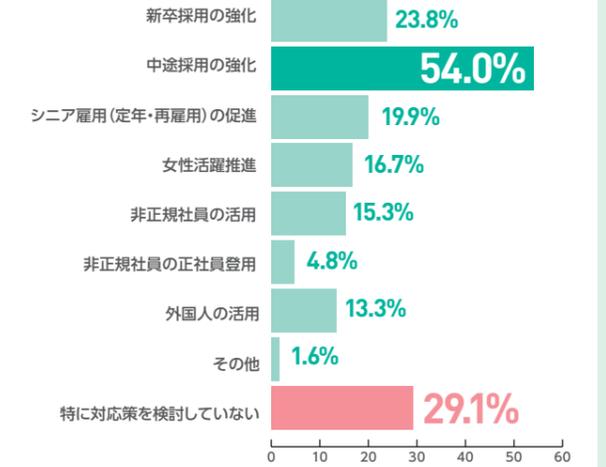
中小企業における人材不足については本アンケート調査で全体において、不足超過の状況が続いております。今回のアンケート調査については人材不足に対する対応策や人材育成についての取り組みのほか、人材定着に向けての賃金引き上げ、建設業、自動車運転業などにおける2024年問題に対する業務への影響、対応策などについて実施いたしました。

調査時期 / 2024年2月15日～3月7日 調査対象企業数 / 1599社 有効回答数 / 441社 有効回答率 / 27.6% ※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。

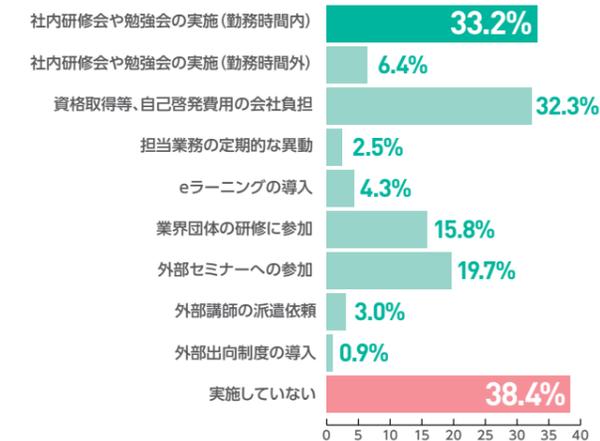
Q1 貴社では、現在の人材の状況について懸念していることはありますか。 ※最大3つ選択



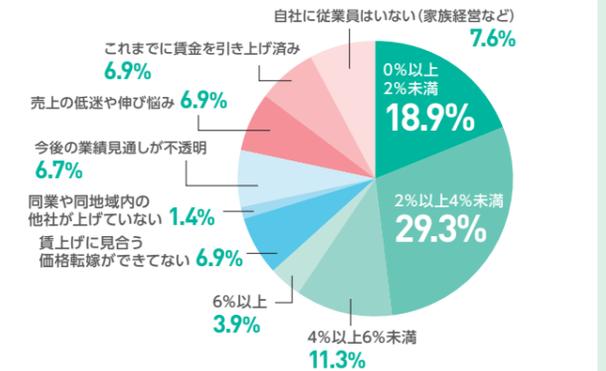
Q2 今後の貴社の人材に対する対応策について、最も近いものをお答えください。 ※最大3つ選択



Q3 貴社では、人材育成において、職場内での実地の訓練(OJT)以外の取り組みを実施していますか。 ※最大3つ選択



Q4 貴社では、人材定着などに向けて、2024年中に賃金(定期昇給分除く、賞与や一時金除く)の引き上げを実施(実施予定を含む)しますか。引き上げる方はその賃金引き上げ率について、引き上げない方は引き上げなかった理由について、それぞれお答えください。 ※1つ選択



Q5 2024年4月から、建設業、自動車運転業、医師などで残業時間の上限規制が始まります(2024年問題)。これに伴い、貴社では、業務への影響が出ると思込まれますか。また、貴社では2024年問題を受けて何らかの対応策を取りましたか。 ※それぞれ1つ選択

